

プロジェクトメンバー

新領域創成科学研究科
空間計画 / 出口敦研究室
井上 雄仁 遠藤友里恵
久野 恭平 宮崎 智裕

清水亮研究室
小笠原れい子 原田 恵



UDCT 田村地域デザインセンターとは



田村地域デザインセンター (UrbanDesignCenterTamura:UDCT) は福島県田村市において、まちづくりを研究し、実践する地域密着のシンクタンクである。平成 20 年 8 月に田村市、住民団体、東京大学が共同設立した。公・民・学が連携して、地域の未来を切り開き、諸課題に取り組む新しい公共体である。

現地調査・学生提案作成 (2012.6~)

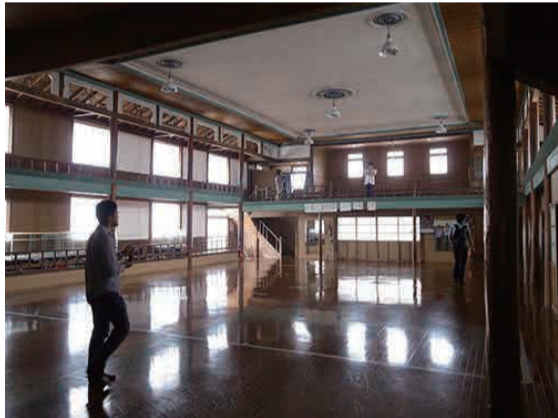
2012年6月より、田村市全域を対象とした調査を開始した。これまでの各地域での調査を踏まえ、行政や住民に対するヒアリング調査や文献調査を通じて、学生からの提案書を作成した。

2012 Jun.

滝根町、大越町現地見学
ヒアリング調査



滝根町でのヒアリングの様子



旧大越娯楽場見学の様子

Jul.

船引町、都路村現地見学
ヒアリング調査



船引町での現地調査の様子



UDCTでのヒアリング調査の様子

Sep.

近隣地域、観光資源見学
ヒアリング調査



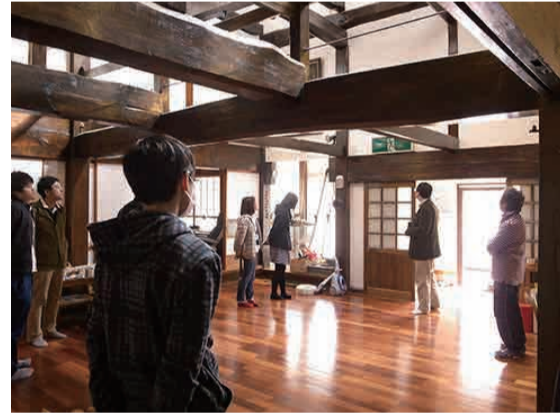
市担当チームへのヒアリング調査の様子



あぶくま洞現地見学の様子

Nov.

東日本大震災で避難していた
地域の見学とヒアリング調査



都路町現地視察の様子



前年度プロジェクトの社会実験補佐の様子

Nov.

田村市プロジェクトチームとの
意見交換会



意見交換会の様子



ヒアリング調査の様子

2013 Jan.

田村市長への中間報告
意見交換会



市長への中間報告の様子



市長への中間報告の様子

Mar.

UDCT運営委員会での報告会
意見交換会



UDCT運営委員会での意見交換会の様子



常葉町での住民への報告会の様子

Apr.~

住民や行政と協力しながら「社会実験」という形で、具体的に提案を見せていく



昨年度の社会実験の様子



昨年度の社会実験の様子

各地域におけるこれまでの取り組み

船引 (2007~08)
「住み続けられる町」



都路 (2011)

「人のつながりを活かし、新たな『つながり』を展開させる都路のまちづくり」



大越 (2010)

「大越が持つ資源の価値を共有し、つなげるまちづくり」



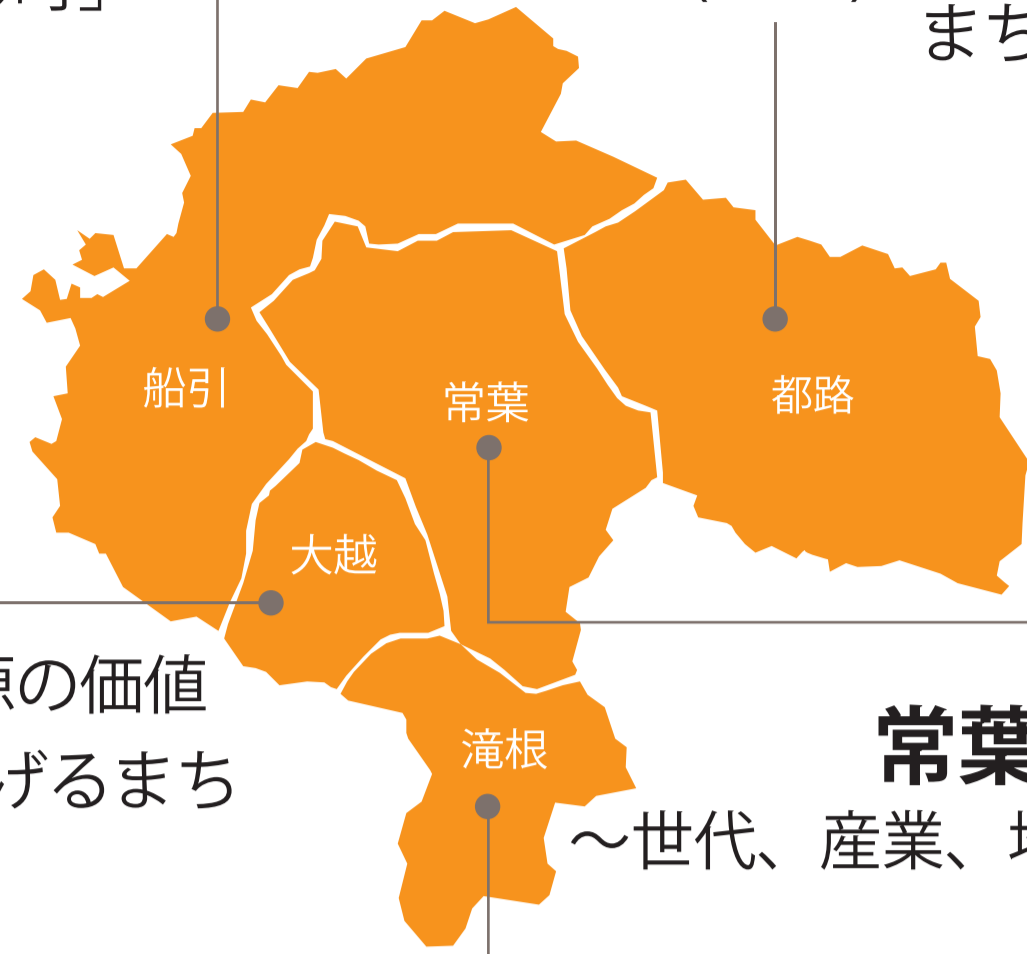
常葉 (2012)

「かえる未来ときわ〜世代、産業、地域をこえたネットワーク〜」



滝根 (2009)

「生活空間を魅せる」



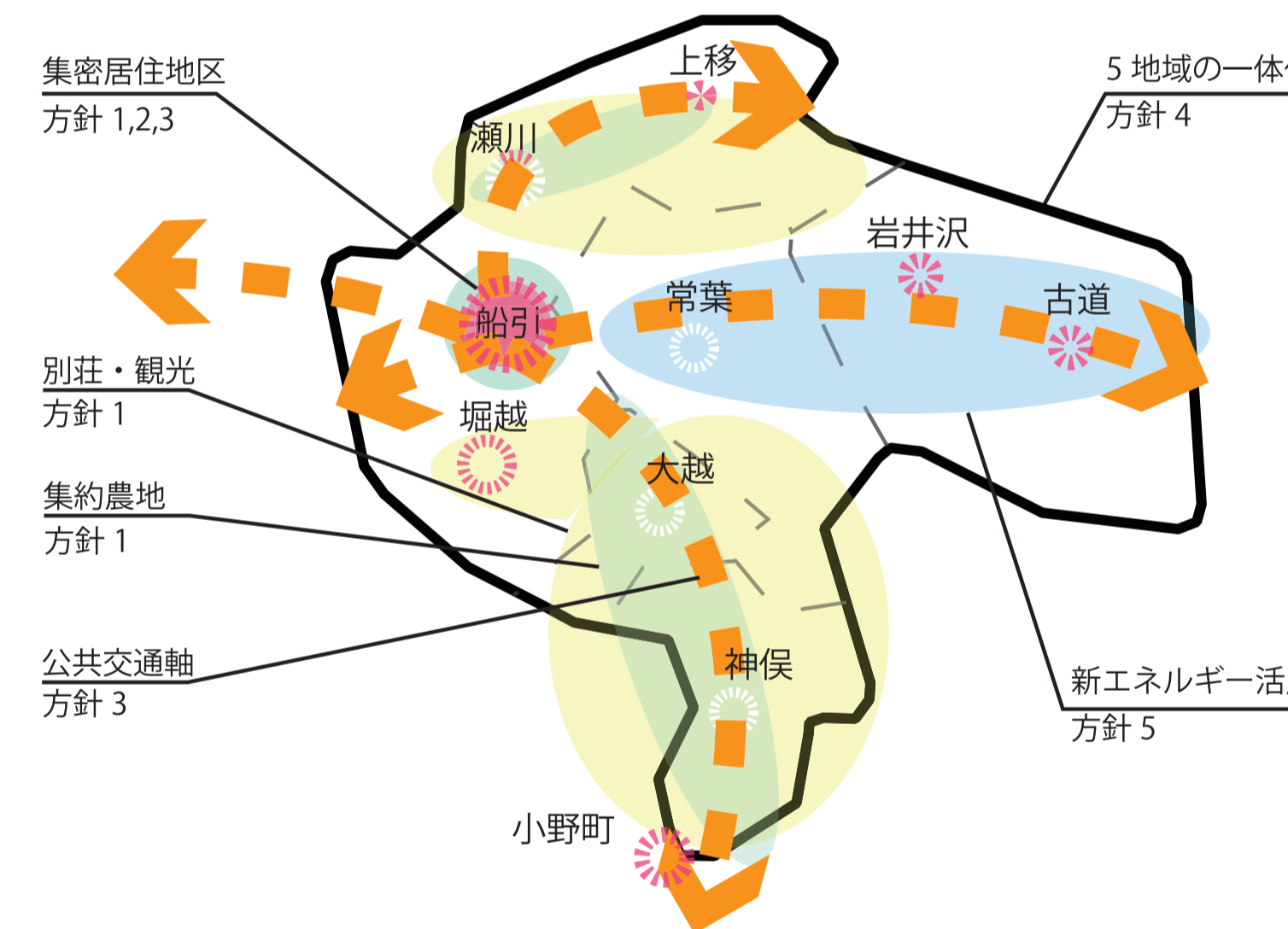
学生提案

問題意識

元々公共交通の衰退など、多くの日本の地方都市に見られるような課題を抱えており、大きな転機として旧5地域の市町村合併による田村市の誕生があった。しかし各地域の活力が保たれているとも言えず、市としてのまとまりにも欠けてしまっている。そこに東日本大震災が発生し、主産業だった農業の衰退、人口流失の加速など、さらに多くの課題と直面している。

まちづくりの基本理念

自然と文化を結び直し、小さなまちから大きなつながりを生む

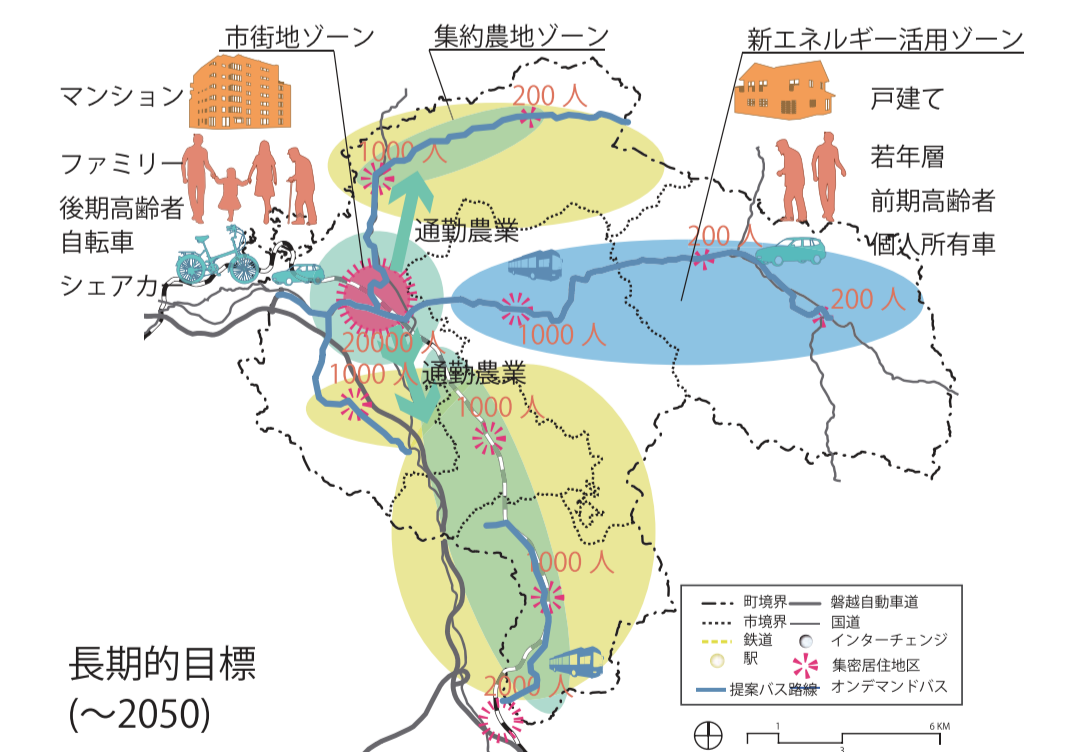


各地域で自立している現在のまちづくりを発展させ、「田村市」という1つの枠組みをより重視した取り組みを行っていく。各地域の枠を超えた「田村市」という視点からの効率的な資源の活用や、各地域の特色を活かした田村市全体を見通した地域資源の利活用を行う。「田村市」としてのつながりを生み、次世代に向けた発展を目指す。

目標 1

効率的な資源活用に基づいた、都市構造や日常生活サービスの再構築

「集密居住地区」を設定し、その地区を中心に、住民の移住の奨励や、都市施設の再配置、公共交通システムの利便性向上などを図る。



集密居住地区の他、農地エリアや自然に囲まれた別荘地エリアなどを設定。集約化し効率的な都市構造の創造と、多様なライフスタイルの選択の両立を目指す。



公共バスが維持可能な利用率を算出。その利用率を達成するため、バス停をより利用しやすくするための整備やオンデマンドバスの導入を検討する。



配置に偏りがあり、空き部屋も多い公共施設の再配置プランを提示する。さらに、空き部屋を利用した市民大学の開催や、交流スペースの設置などを行う。

目標 2

「田村市」独自の資源の活用による活力向上

「田村市」という大きな視点から5地域全体の資源をとらえ直し、住民の中に5地域にとらわれない「田村市民」としての意識を醸成することによる活力向上を図る。



地域資源を扱ったドキュメンタリー作成など、市民が主体的に企画運営を行い地域資源の魅力発見につながるイベントを行う。そのことによって「田村市」全体としての一体感を高める。



市民間で盛んに行われている文化活動など、日常生活に潜んでいる地域資源を利用した小規模のコミュニティビジネスを行う。また、自然資源の新たな利用法を検討する。